

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第49回 ビジネス文書実務検定試験 (25. 11. 24)

第3級

速度部門問題

(制限時間10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

〔書式設定〕

- 1行の文字数を30字に設定すること。
- プロポーショナルフォントは使用しないこと。

〔注意事項〕

1. ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
2. 問題のとおり、すべて全角文字で入力すること。
3. 長音は必ず長音記号を用いること。
4. 入力したものの訂正や、適語の選択などの操作は、制限時間内に行うこと。
5. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することができる。ただし、句点とピリオド、あるいは、読点とコンマを混用することはできない。混用した場合はエラーとする。
6. 時間が余っても、問題文を繰り返し入力しないこと。

第49回 ビジネス文書実務検定試験 (25. 11. 24)

第3級 速度部門問題 (制限時間10分)

日本の企業が開発した新しい工法により、東京の有名なホテルが	30
解体された。最上階をジャッキで支え、上から1フロアずつ壊し、	60
内部の床に開けた穴から廃材を降ろすやり方だ。最上階が少しずつ	90
下がっていくため、ホテルが縮んでいくように見えた。	116
これまでは、ビルの外側に足場と防音パネルを仮設し、解体して	146
いた。この方法は、建物が高くなるほど費用がかかり、危険性も高	176
くなるという欠点がある。100メートル以上のビルでは、作業は	206
困難であった。	214
今回の新しい工法は、超高層ビルでの作業も可能にした。騒音や	244
振動などが抑えられ、天候に左右されにくく、工期も短縮できる。	274
建築で世界をリードしてきた日本が、解体技術においても脚光を浴	304
びるだろう。	310